

その他の金属製品製造業における建築物、構築物を起因物とする死傷災害発生事例（2017年）

2017 年 発生 月	時間	死傷災害発生事例	年 齢	労 働 者 規 模
3	15~16	工場で鉄塔の本体の解体中に、中央部に入れてあったボルトが外れ、鉄材（長さ2.5m・巾6cm・厚さ6cm）が外れてずれ落ち、左手を痛めた。	40	1 ～ 9
4	9～ 10	地面に埋め込み式の鉄くず缶が一杯になり空の鉄くず缶に交換した際にバランスを崩し空の鉄くず缶の中に落下し、左ひざと腰のあたりを強打した。そのあと自力ではい上がり測定作業をする際にバランスを崩し、製品と接触して口元を切った。	62	—
4	10～ 11	車から下車した後、荷物を降ろしている時、シャッターの段差で右足首を捻った。	71	10 ～ 29
5	14～ 15	当社工場内の製品搬出作業場で、搬出口に10tトラックを横付けして、金型製品（1,000mm×1,000mm×1,000mm、1t）を10tクレーンで吊り上げ、トラック荷台に積み込み作業をしていた時、搬出口（高さ1m）の端から足を踏み外して落下し、着地した時に右足の足首と第4指と第5指を負傷した。	25	10 ～ 29
6	9～ 10	一次加工、鋸盤（切断）での2回目の切断準備中、切断マークに光を当て鋸刃の影に切断マークを合わせる作業中、工場の明るさで、鋸刃の影が見えにくかったので梁の上にのぼり切断マークを合わせる作業を行い、作業完了後、梁の上から降りる時に足が梁のフランジに引っ掛かり、そのまま前に転倒した。転倒した時に、下に置いていたH294×200×8×12、長さ400の切れ端（スクラップ）のフランジ上面に顔をぶつけた。	22	10 ～ 29
		工場での作業終了後、手洗い場へ向かう途中で、ルートを勘違いして、工場の間を		10

7	20~21	流れる川へ落ちてしまった。（川底はコンクリートで深さ2.5m）	64	～ 29
7	15～ 16	第1工場内コイル矯正機現場で、コイル先端をロールに入れる作業中、誤ってコイルをロール下に入れてしまったため引き抜いたところ、握っていたコイルが跳ね、それにつられて現場から落下（1.8m）し、右膝を打撲した。当日は軽い痛みのため業務を続けたが、翌朝になって痛みがひどくなった。	54	50 ～ 99
7	8～9	会社工場内コイルパネル置場において、立て掛けてあるコイルパネル（厚さ0.8mm、幅43cm、コイル状、約1t）をクレーンを使って整理作業中、クレーン周りばかりを注視して移動していたため、足元が不注意となり、パネルの台座（三角形状）上で身体のバランスを崩し、壁側に倒れ掛かったため、右手を思いっきり伸ばして阻止しようとした際、壁に強く打ちつける状態となり負傷した。	48	30 ～ 49
7	1～2	第1工場の引き扉を左から右へ閉める際、左足を残したまま扉を閉めようとした。	47	10 ～ 29
9	16～ 17	カントリーエレベータ内で、湿式スラッチコンベアのモーター部分の工事完了写真を撮り終わって下りる時、高さ1.2mの位置から足をすべらせ落下した。	55	30 ～ 49
9	7～8	出向先に於いて、廃液をバキュームローリー車で吸い上げる作業中、通常よりローリー車が離れて駐車した為、ホースが地面に着かなかったので廃液タンク横の給水タンクの架台の上にホースを乗せて吸い上げようとして、給水タンクの架台の上によじ登り、ホースをセットした時、足が滑り架台から地面に落下してしまった。その際、頭部他数か所を打撲骨折したものである。	49	30 ～ 49
9	17～ 18	業務終了後、工場敷地内駐車場へ向かう途中に、溝に足をとられ転倒、右肩を強打し骨折となる。	37	50 ～ 99
10	22～ 23	第3工場A25柱付近でBOX桁内溶接作業をする為、桁端ダイヤラム開口部から入り箱内に着地した際、バランスを崩し、立てリブに右足首をぶつけ右足首を捻ってしまった。	32	50 ～ 99

10	14～ 15	工場において、屋外の梁の塗装作業中、塗装を終えた梁（300×600）の上に乗リ、次の梁を横に倒していたとき、バランスを崩して梁の上で転倒し、頭を打ちアスファルト路面（高さ90cm）に転落負傷した。	61	1 ～ 9
11	14～ 15	製缶工場にてサンダー作業中、立ち上がり横に移動していた時、足がもつれてよろけ台に躓いて転倒し定盤で左の膝を強打した。翌朝、痛みがひどくなった。	32	50 ～ 99
11	9～ 10	船上においてハッチカバーを連結するための現地指導に行き1人でコーミング上に上ろうとステップ（約40kg）に足を掛けた時、ステップをボルトで固定していなかったのでステップが右足の指に落下し負傷した。	60	10 ～ 29
12	12～13	社員用通用口より工場内に入るさい、突風により扉が急に閉まり、右手中指を挟み、指先を切断した。	48	10 ～ 29

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_11.html